

電動車椅子

取扱説明書

myride（マイライド）

EMC-MR1型



この取扱説明書はご使用前にご本人及び介助者が必ずよくお読みください。また、いつも身近において分からないことがありましたらこの取扱説明書をお読みください。

はじめに

この度は、弊社の電動車椅子をお買い上げいただきましてありがとうございます。
取扱説明書には正しい取扱いや簡単な手入れの方法など製品情報について記載してあります。
ご使用前に、ご本人及び介助者が**必ずよくお読みください**。分からないことがありましたらこの
取扱説明書をお読みください。
電動車椅子を安全にご使用いただき皆様の日常生活のお役に立てることを願っております。

●お願い●

品質改良のためお手元の製品と本書の説明の内容またはイラストの一部が異なる場合があります
がご了承ください。
電動車椅子を他人に貸し出す場合は取り扱い方法をよく説明し、ご使用前に「取扱説明書」を**必
ず読むように指導**してください。
電動カートを譲渡するときは「取扱説明書」を一緒に引き渡してください。
公道で使用する場合道路交通法で定められた電動カートの定義より外れるものについては、最寄
りの警察署長の承認をお取りください。

●補修用部品の供給年限について●

本製品の補修用部品の供給年限（期間）は**製造打ち切り後5年**といたします。
ただし供給年限内であっても部品によっては供給できない場合があります。また、納期・価格
等についてご相談させていただく場合もあります。

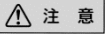
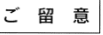
目次

項 目 ・ 内 容	頁 数
1 安全のために	2
2 各部の名称	3
3 基本的注意事項	5
1. コーションラベルの説明	5
2. 運転の練習	7
3. 走行上の注意	7
4. 充電上の注意	10
5. バッテリについて	11
4 組立て・調整及び分解	12
1. 操作ボックスの取り付け及び位置調整	12
2. バッテリの取り外しの仕方	12
5 点検・整備・保証	13
1. 日常点検	13
2. 定期点検	13
3. 保証について	14
6 運転時の操作手順、およびその他操作方法について	15
1. 運転時の操作手順について	15
2. バッテリ残量ランプの表示について	18
3. 電源スイッチ切り忘れ防止機能について	18
4. 走行距離について	18
5. 緊急時の対処の方法について	19
7 充電の仕方	20
8 バッテリの取り扱い	22
1. バッテリについて	22
2. バッテリの交換について	22
3. バッテリを長持ちさせる上手な使い方	23
9 手入れの仕方	24
1. タイヤの溝について	24
2. 保管上の注意	24
3. その他の手入れ	24
10 故障時チェックリスト	25
11 諸元・性能表	26
12 外観図	27

1 安全のために

電動車椅子を安全にご使用いただくため正しい操作と定期的な点検が必要です。

取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまではご使用にならないでください。

取扱説明書には、ご使用に際して重要な案内事項を  危険  警告  注意  ご留意 のマークを使用して表現してあります。これらのマークにより表現された内容は、以下の意味を持ちますので特に注意してください。



その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれのあるものを示します。

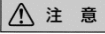


その指示に従わなかった場合軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生するおそれのあるものを示します。



その指示に従わなかった場合、電動車いすが壊れるおそれのあるものを示します。

尚、上記分類においては

重	傷：失明・けが・火傷（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの及び治療に入院・長期の通院を要するもの。
軽	傷：治療に入院や長期の通院を要さないもの。（上記重傷以外）
物的損害：	家屋や家財及び家畜・ペットにかかわる損害など。ただし、電動カート自体のみの損害（自損）は含まれない。また、  の欄に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく場合があります。いずれの場合も安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

電動車椅子は歩行が不自由な方、お年寄りの方が乗って移動することを使用目的につくられています。取扱説明書に示されている操作方法や安全に関する注意事項は、電動車椅子を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。取扱説明書に書かれていない使用方法をおこなう場合の責任は負いかねますのでご留意ください。また、電動車椅子は手指で操作し走行し、速度をコントロールするため以下の能力が必要となります。当該能力のない方につきましては使用されないでください。または、介助者が同行しご使用ください。

- 取扱説明書を読んで理解する能力
- 危険を判断する能力
- 道路交通ルールを守る能力
- 迅速な対応ができる能力

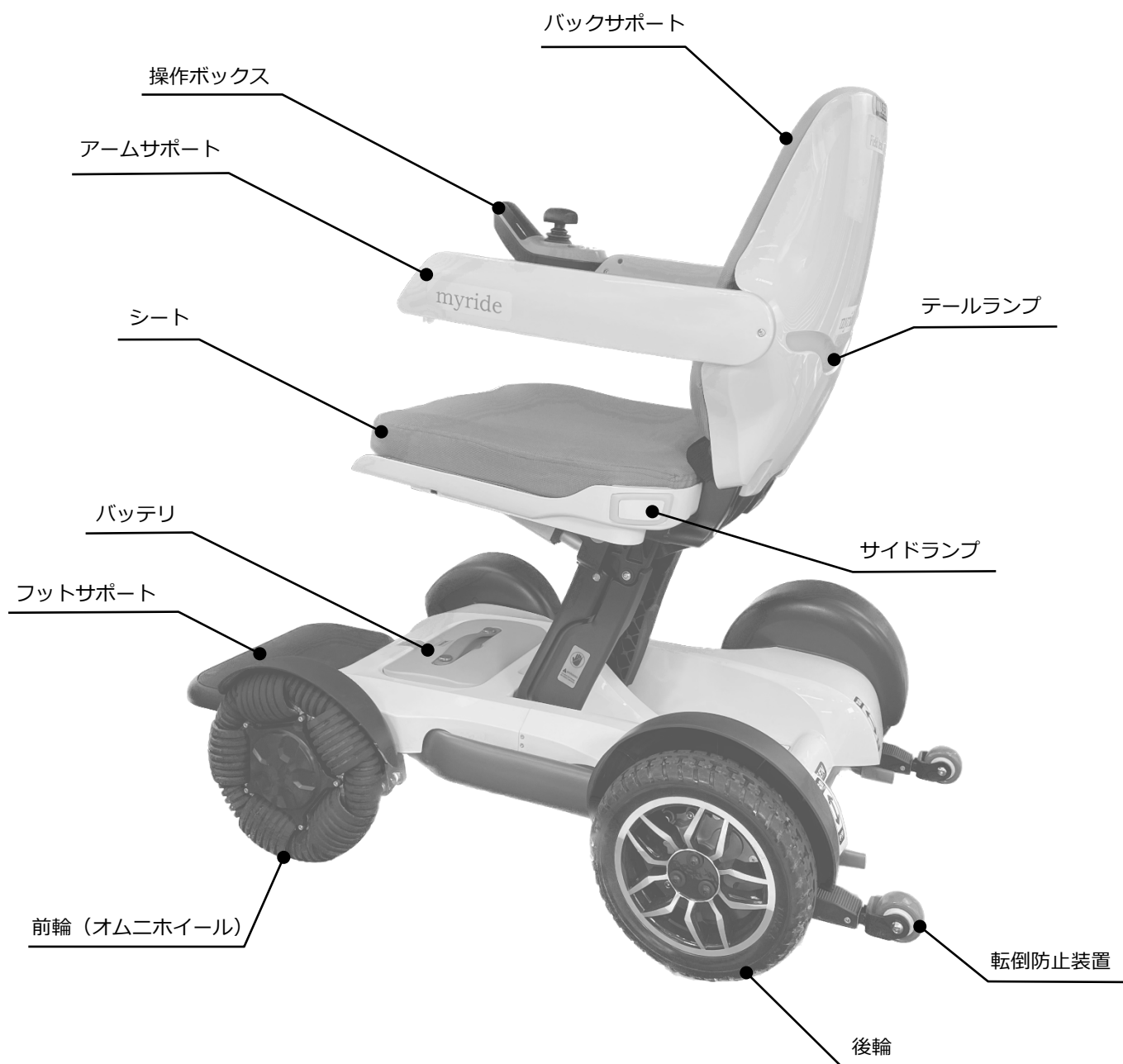
以下の状況では絶対に使用しないでください。

- 緊急性の持病がある方
- 心臓病のある方
- 妊娠中の女性
- 知覚に問題のある方
- 積載最大荷重を超える方
- 二人乗り
- 健康不安のある方は、事前に医師に相談してください。
- 心臓ペースメーカーを装着されている方は、事前に医師に相談してください。

2 各部の名称

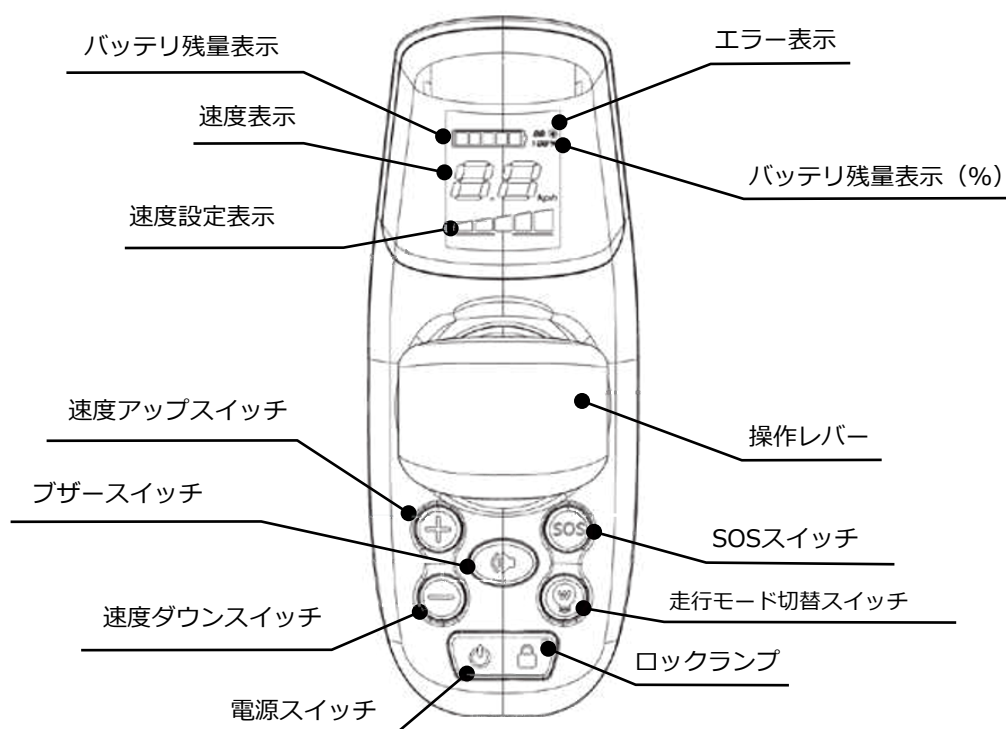
●電動車椅子全体

付属品	
・充電器	1個
・シートベルト	1個
・付属工具	
・プラスドライバー	1個
・六角レンチ8mm	1個
・六角レンチ5mm	2個
・六角レンチ4mm	1個
・六角レンチ3mm	1個
・六角レンチ2mm	1個



各部の名称

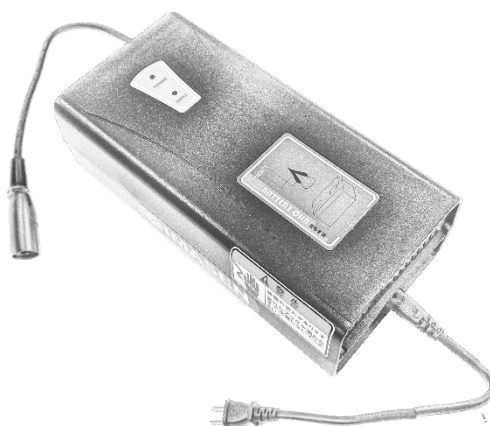
●操作ボックス



●バッテリー



●充電器

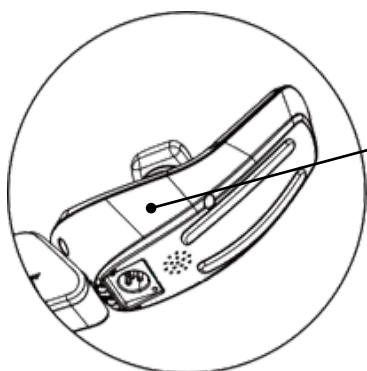


3 基本的注意事項

1. コーションラベルの説明

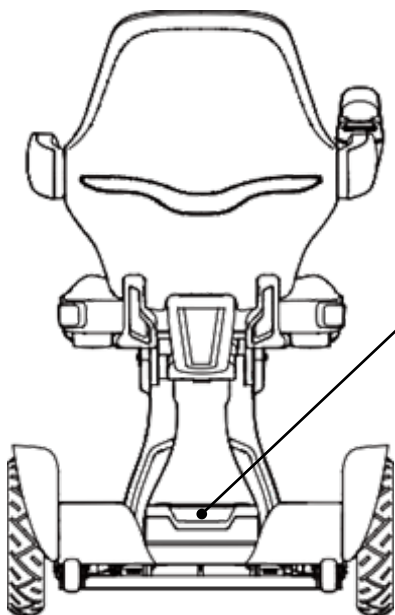
運転上、特に注意していただくことを電動車椅子にラベル表示してあります。よくお読みになって安全に走行してください。

●コーションラベル位置



⚠ 注意

無線・携帯電話等を使用するとき、あるいは、理学療法の治療を受けるときは、電動車いすの電源スイッチを「切」にしてください。
機器の故障や誤動作の恐れがありますので、水のかかるところや、濡れた手で使用したり、操作レバーを改造したりしないでください。



⚠ 注意

踏切の横断

- ・踏切内で立ち往生してしまうおそれがあるため、踏切の横断はできるだけ避けましょう。
- ・やむを得ず踏切を横断する場合は、介助者に同行してもらいましょう。
- ・立ち往生してしまったら周りの人に助けを求めましょう。

⚠ 警告



衝突・転倒のおそれがあります。

- ・坂道ではクラッチレバーを「手押」位置で使用したり、「手押しモード」にしないでください。
- ・衣服等が車輪に巻き込まれないよう注意して走行してください。

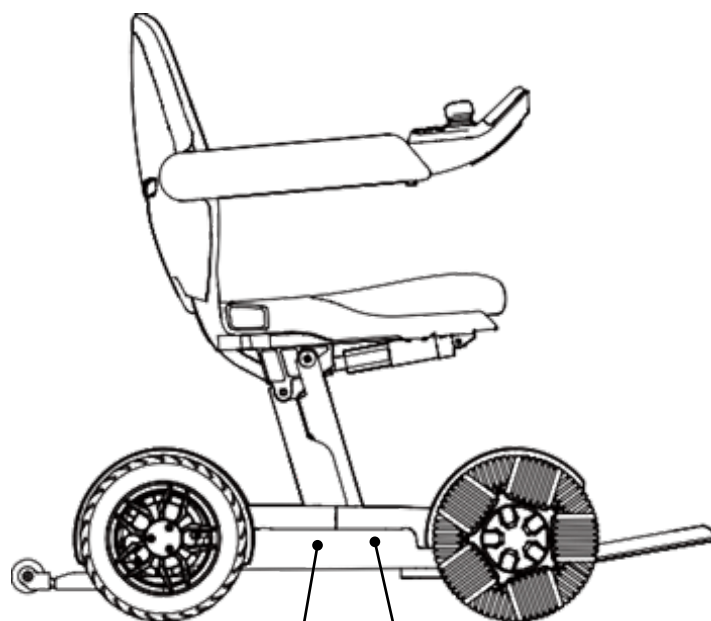
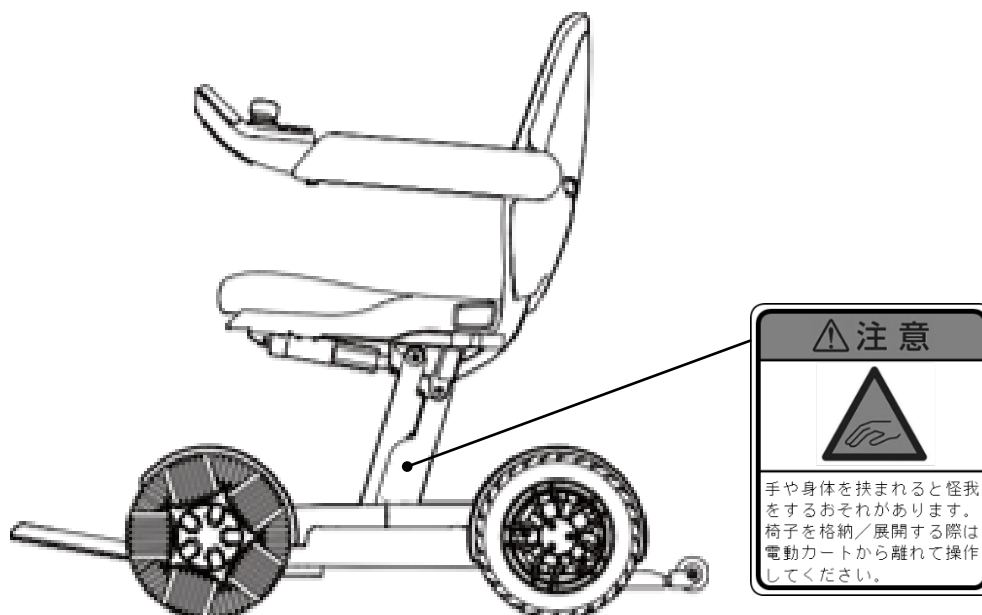
転倒や事故のおそれがあるため、次のような場所や状況下で走行することは避けてください。

- ・急な坂道 ・大きな溝や段差 ・ぬかるみや雪道、凍結路
 - ・下り坂での後進や中高速走行 ・傾斜面の横断
 - ・急旋回や蛇行運転 ・夜間 ・降雨や濃霧、強風等の悪天候時
- 電動カートは歩行者扱いです。歩行者として交通ルールを守って走行してください。

製造元	株式会社 今仙技術研究所
種類・機種	EMC-MR1
バッテリー形式	Li-Ion 20Ah
定格電圧	DC24V
使用者最大体重（積載物含む）	120kg

基本的注意事項

●コーションラベルの内容



製造年月ラベル

〇〇年〇〇月製

車体番号ラベル

〇〇〇〇〇〇〇〇

基本的注意事項

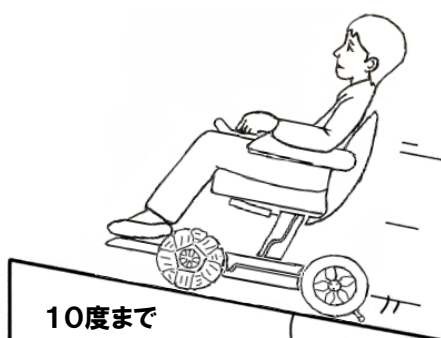
2. 運転の練習

正しい操作手順を覚えるために以下のような練習をしてください。

- はじめは必ず介助者と同行し公園や広場など安全な場所で自信がつくまで充分練習してください。
- 操作ボックスの走行モード切り替えスイッチ（W）を初心者モードに切り替え、前後・左右、大きく回ったりして練習してください。停止するときは操作レバーを中央の位置に戻してください。
- 操作に自信ができましたら、徐々に速度を上げて走行してください。
- はじめて道路へ出るときは必ず介助者と同行し安全を確認しながら走行してください。

3. 走行上の注意

（１）坂道走行するときは、以下のことを守ってください。



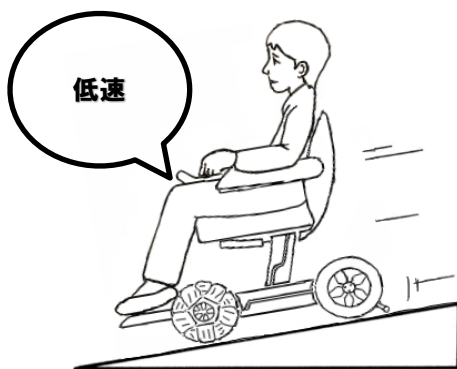
警告	
	衝突・転倒の恐れがあります。 坂道ではクラッチレバーを「手動」位置で 使用しないでください。 制止できなくて人身事故の危険があります。

注意

坂道での乗り降りは危険ですからやめてください。
必ず平坦な場所で乗り降りしてください。

注意

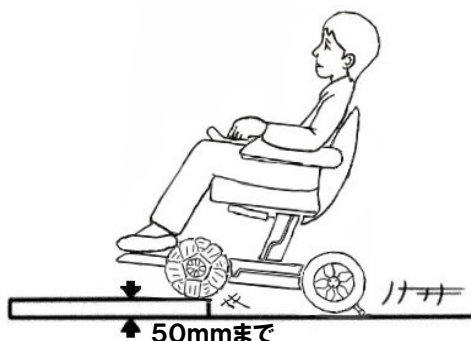
急な坂道の走行や坂の途中で向きを変える、急な傾斜面（５度以上）を横切るとは不安定になりやすく危険ですので避けてください。尚、安全に走行できる坂道は１０度までです。
１０度を超えると音声にて危険をお知らせします。



注意

下り坂を走行するときは必ず低速でゆっくりとした速度で下りてください。高速では停止距離が長くなり大変危険ですのでやめてください。また下り坂を走行中、急旋回をしたり、後ろ向きに下りることは大変危険ですのでやめてください。

（２）段差乗り越えについては、以下のことを守ってください。



注意

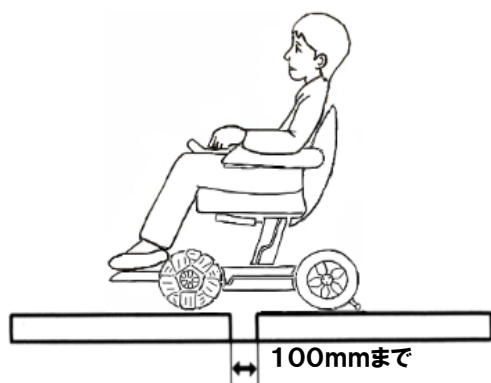
越えられる段差は５０mmまでです。これ以上の高い段差は危険です。路面状態のよいところを走行してください。

注意

転倒・落輪するおそれがあります。段差に対して斜め方向から進入することはやめて直角に乗り越えてください。

基本的注意事項

(3) 溝越えについては、以下のことを守ってください。



⚠ 注意

100mm以上の溝越えは落輪するおそれがありますので路面状態のよいところを走行してください。

⚠ 注意

転倒・落輪するおそれがあります。溝に対して斜め方向から進入することはやめて直角に乗り越えてください。

(4) 悪天候・夜間走行は、以下のことを守ってください。

⚠ 注意

電子機器に雨水が掛かる雨天時や水の掛かるところ、非常に湿度の高い環境での使用は、機器の故障や誤動作のおそれがありますので避けてください。
濃霧・強風時等は見通しが悪くなり危険をともないますので避けてください。
雪道・凍結路はスリップするおそれがありますので避けてください。設計温度は、 $-10^{\circ}\text{C} \sim 5^{\circ}\text{C}$ ですが、湿度も機器に大きな影響を及ぼすため注意が必要です。
夜間の走行は大変危険ですので避けてください。やむを得ず走行する場合は介助者と同行して走行してください。

⚠ 注意

夏場の高温や冬場の低温はバッテリーの放電に変化が起こり、走行距離が短くなることがあります。特に夏場のトランク内は温度が上昇しますので注意が必要です。

(5) その他、走行に関する注意事項につきましては、以下のことを守ってください。

⚠ 注意

電動車椅子の走行できる場所には限度があります。
以下のような場所や状態では危険をともないますので避けるか、または介助者と同行して走行してください。
●デパート・商店・レストラン・駅のホーム等人混みで走行する場合は、充分気を付けてください。
混雑した場所で止まったときは必ず電源をお切りください。周りの人の手やかばんなどが操作レバーに接触し発進するおそれがあります。
●交通量の多い道路・踏切・砂利道・でこぼこ道・エスカレーター・ぬかるみ・防護柵の無い道路の路肩等は衝突・転倒またはタイヤがめり込んだり車体がつかえたりして動けなくなることがあります。

⚠ 注意

踏切を渡る際には、以下のことを守ってください。
●踏切内で立ち往生してしまうおそれがあるため、踏切の横断はできるだけ避けましょう。
●やむを得ず踏切を横断する場合は、介助者と同行してもらいましょう。万が一、立ち往生してしまったら周りの人に助けを求めましょう。

基本的注意事項

⚠ 注意

坂道では、坂に対してできるだけ直角方向に走行してください。斜め方向、または地面に凹凸がある場所では車体が思わぬ方向へ流されるおそれがありますので十分に注意して走行してください。

⚠ 注意

二人乗りやけん引などはしないでください。故障の原因にあります。

⚠ 注意

エスカレーターの乗り降りや階段の上り下りは、転倒しますのでやめてください。

⚠ 注意

走行中の急旋回・蛇行運転・急停止は衝突・転倒のおそれがあります。なめらかな運転をしてください。

⚠ 注意

衣服などがタイヤへ巻き込まれないよう気を付けて走行してください。

⚠ 注意

操作ボックスの操作レバーに物を掛けると運転のさまたげになり大変危険なのでしないでください。

⚠ 注意

以下のような場合は運転をやめましょう。
● 気分のすぐれないとき、**飲酒や薬を服用**したときは運転をしないでください。
● 気温の高い季節は適度な水分補給や日陰で休憩をとるなど熱中症に注意しましょう。
● 持病などで操作に不安のある時は運転をしないでください。

⚠ 注意

腕を伸ばした姿勢で運転をされますと疲れが生じ体調を崩すおそれがありますので肘を曲げ楽な姿勢でご使用ください。

⚠ 注意

段差解消機及びスロープ付き、またはリフト付き自動車を利用される際は一人で乗降されますと大変危険です。一人で乗降しないでください。乗降のときは必ず介助の方が電動カートのクラッチを手動に切り替え、安全を確認しながら手押しにておこなってください。リフト昇降時、固定時は必ず電動カートのクラッチを電動に切り替えて電源スイッチを「切」にしてください。

⚠ 注意

走行中に異常を感じたら直ちに使用を中止し販売店へご連絡ください。

基本的注意事項

⚠ 注意

電動車椅子を持ち上げる場合は操作ボックスの電源スイッチを「切」にしフレームを持っておこなってください。

⚠ 警告

改造しないでください。改造すると安全上問題となるおそれがあります。
改造による損失・破損・事故や法的違反につきましては一切の責任を負いません。

4. 充電上の注意

⚠ 警告



引火爆発の恐れがあります
充電中、バッテリーに火気を近づけないでください。
バッテリーは充電中、可燃性のガスを発生します。

⚠ 警告



感電の恐れがあります
濡れたプラグや、濡れた手で充電しないでください。
つぎのような場所では充電しないでください。
●雨露を受ける場所
●湿気の多い場所

⚠ 危険

専用充電器以外で充電しないでください。
発電機やインバーターからの充電はおこなわないでください。
充電中にバッテリーが異常に熱くなったり、臭いがしたり、変形など異常が生じた場合はすぐに充電を中止し、充電器を電動カートから外してください。

⚠ 警告

分解、改造しないでください。

⚠ 警告

以下のような場所で充電しないでください。
●水が掛かる場所
万が一、水が掛かってしまった場合にはすぐに充電を中止し、充電器を電動カートから外してください。
●火気の近く
●ほこり、汚れや湿気のある場所

⚠ 注意

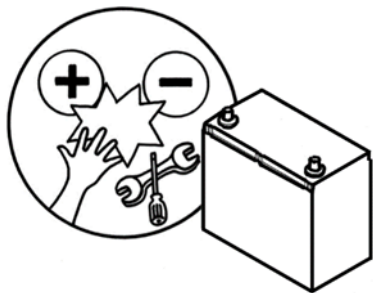
充電時、充電コードや電源コードが物に挟まれていないか、極端な曲がりなど損傷がないかしっかり確認し充電をおこなってください。

基本的注意事項

5. バッテリーについて

バッテリーに直接触れる作業をおこなう場合は、バッテリーに表示されているコーションラベルをよくお読みになってその指示に従ってください。バッテリーのラベルの内容は以下の通りです。

バッテリーについては、以下のことを守ってください。



⚠ 危険

必ず専用バッテリーをご使用ください。
走行性能に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 警告

分解、改造しないでください。

⚠ 警告

バッテリー交換、または充電する場合は濡れた手でおこなわないでください。

⚠ 注意

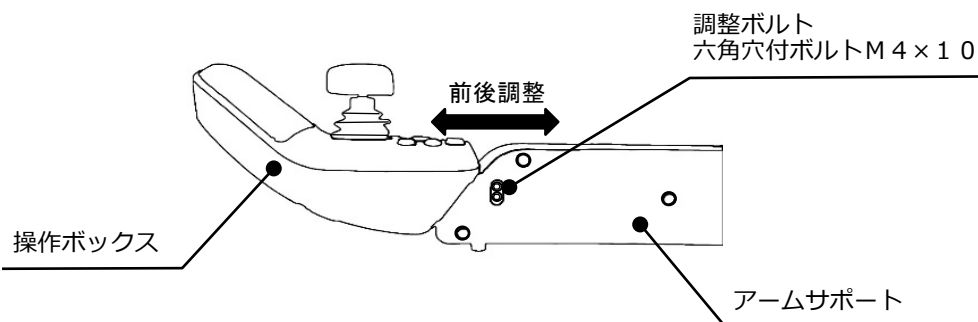
電動車椅子のバッテリーを人工呼吸装置等の生命維持装置の電源等には使用しないでください。

4 組み立て・調整及び分解

梱包を解いたときや分解した電動カートは以下の順序により組み立てと調整をしてください。

1. 操作ボックスの取り付け及び位置調整

操作ボックスの前後調整は18mmピッチで4段階に調整が可能です。（前後調整範囲：54mm）
六角レンチ3mm（付属工具）にて2カ所の六角穴付ボルトM4×10mmを外し調整することができます。



⚠ 注意

操作ボックスが外れるおそれがあります。操作ボックスを取り付ける場合は、必ず六角穴付ボルトM4×10mm 2カ所が確実に締め付けられていることを確認してください。

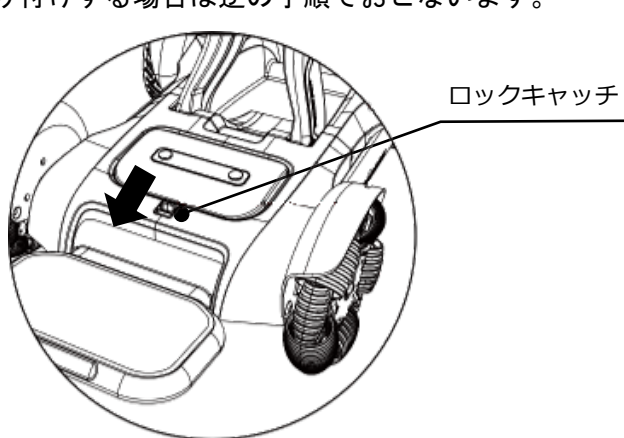
ご 留 意

各ボルトの固定は下表の締め付けトルクに従って締め付けてください。

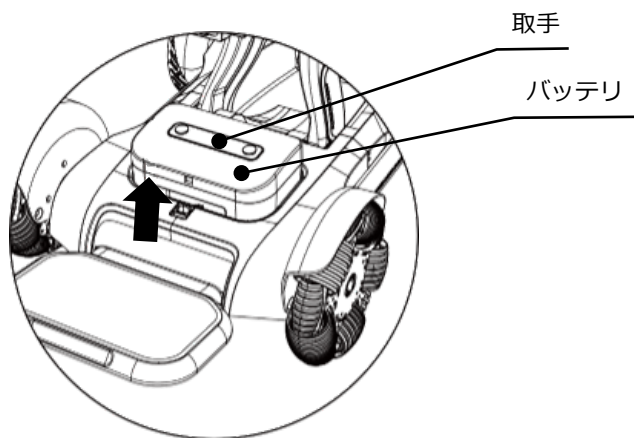
ねじ径(mm)	六角ボルト(kgf・cm)
4	10

2. バッテリーの取り外し方

- ① 電動車椅子の足元にありますロックキャッチを矢印の方向へスライドさせロックを解除します（第図1）
- ② バッテリー上面の取手を持ち矢印の方向へ引き抜くことでバッテリーが取り外せます。（第図2）
取り付けする場合は逆の手順でおこないます。



第1図



第2図

ご 留 意

バッテリーには指定の向きがありますので無理に押し込まないでください。

1. 日常点検

走行する前に以下の点検を必ずおこなってください。異常がみられる場合にはお買い上げの販売店で点検を受けてから使用してください。

名 称		点 検 項 目
操作ボックス		操作レバーを離したとき、中央の位置に戻ってくるか？
		操作レバーの曲がり、ガタはないか？
		スイッチ類は正常に作動するか？
ランプ		テールランプは点灯しているか？
		サイドランプは点灯しているか？
タイヤ	前輪（オムニホイール）	亀裂、損傷、異音、異物の挟み込みなどはないか？
	後輪	亀裂、損傷はないか？
バッテリー		しっかりと本体へセットされているか？
		充電はされているか？（バッテリーメータが全て点灯しているか？）
駆動モータ		平地走行中正常に止まることができるか？
		「電動」、「手動」の切り替えが確実におこなえるか？
その他		各部ボルト、ナットの緩みはないか？

2. 定期点検

安全にご使用いただくために6カ月毎にご自身またはお買い上げの販売店で点検を受けてください。（下表は点検記録としてご使用ください。）

※記入記号

V：異常なし A：調整 △：修理 X：交換 T：締め付け C：清掃 L：給油

点検項目		6ヶ月	1年	1年半	2年	2年半	3年
操作ボックス	操作レバーの作動・戻り具合						
	操作レバーの曲がり、ガタ						
	スイッチ類の作動具合						
	ケースの損傷						
前輪 オムニホイール	タイヤの亀裂・損傷						
	タイヤの溝深さ・異常摩耗						
	異音						
後輪	タイヤの亀裂・損傷						
	タイヤの溝深さ・異常摩耗						
ホイール	ボルト・ナット類の緩み						
	ホイールの損傷（前輪）						
	ホイールの損傷（後輪）						
バッテリー	損傷						

点検・整備・保証

※記入記号

V : 異常なし A : 調整 △ : 修理 X : 交換 T : 締め付け C : 清掃 L : 給油

点検項目		6ヶ月	1年	1年半	2年	2年半	3年
充電器	ハーネス類の損傷						
	充電の動作確認						
駆動モータ	回転異常・異音						
	電磁ブレーキの効き具合						
	コネクタ類の緩み・損傷						
	ハーネス類の損傷						
	クラッチレバーの作動具合						
バックサポート	シートの汚れ・損傷						
	テールランプ・サイドランプ点灯						
シート	シートの汚れ・損傷						
実施年月日							
実施者氏名							

3. 保証について

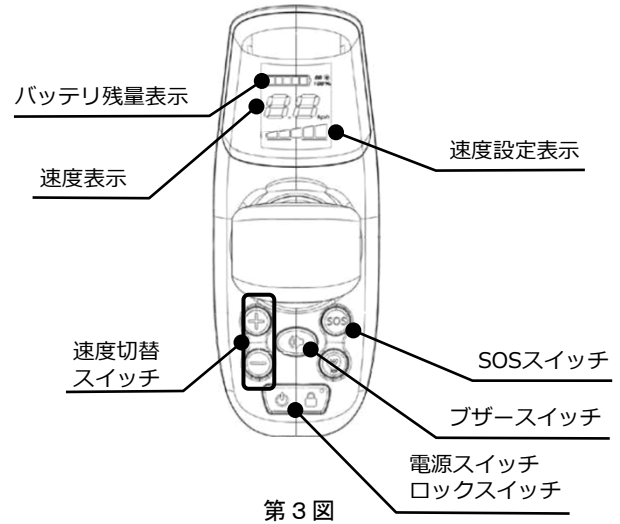
お買い上げいただきました電動カートにおいて、消耗品を除く純正部品の不具合に対する修理対応につきましては、保証書の内容に則って修理対応をおこないます。詳しくは保証書をご覧ください。

6 運転及び操作の仕方

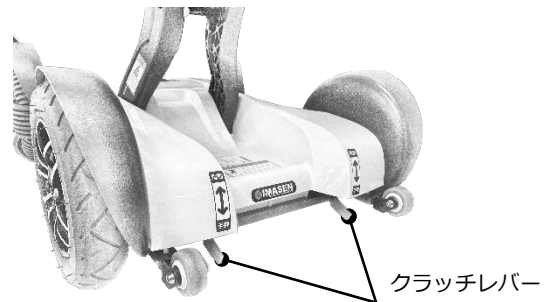
1. 運転時の操作手順、その他操作方法について

・運転時の操作手順

- ① 電動車椅子に乗る前に操作ボックスの電源スイッチ／ロックスイッチが「切」になっている、バッテリー残量表示速度表示など表示部が消灯していることを確認してください。（第3図）
- ② 左右のクラッチレバーが「電動」の位置になっていることを確認してください。（第4図）
- ③ 安定した姿勢になるよう、できるだけ深く座席に座りシートベルトを装着してください。
- ④ 電源スイッチ／ロックスイッチを3秒程度長押しすることで電源が入ります。
※ ロックランプ（緑色）が点灯している場合は、もう一度スイッチを短く押して、ロックを解除してください。ロックランプが消灯します。
- ⑤ バッテリー残量表示、速度表示が点灯していることを確認してください。
- ⑥ 速度切り替えスイッチ $\oplus$ $\ominus$ を押し速度設定表示が変化することを確認してください。
速度は、5段階切り替えです。
※ 路面状況により、速度表示が一時的に6.0 km/h以上を表示することがありますが、平均速度は規格範囲内となっています。
- ⑦ 操作レバーをゆっくりたおしてください。（第5図）
 - ・ 前に倒せば前進、後ろに倒せば後進します。
 - ・ 左右に倒せばその方向に旋回します。
- ⑧ 電動車椅子を停止させるには操作レバーを中央の位置に戻してください。ブレーキがかかり停止します。
- ⑨ 電動車椅子から降りる場合は電源スイッチ／ロックスイッチを3秒以上長押しして電源を切ってください。
- ⑩ 電動車椅子を手押しするときは、電源を切り、左右のクラッチレバーを「手動」の位置にしてください。
※ SOSスイッチは長押しすることで周囲に助けを求める音声流れます。



第3図



第4図



第5図

⚠ 警告	
	衝突・転倒の恐れがあります。 坂道ではクラッチレバーを「手動」位置で 使用しないでください。 制止できなくて人身事故の危険があります。

⚠ 注意

路面角度（坂・傾斜）が10度以上を超えると音声にて危険を知らせます。急な坂や斜面での走行は転倒の危険がありますので避けてください。

運転及び操作の仕方

⚠ 注意

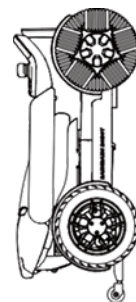
無線・携帯電話等を使用するとき、あるいは理学療法の治療を受けるときは電動車椅子の電源スイッチを「切」にしてください。

ご 留 意

破損、または後輪部が浮き大変危険ですので、乗車される際はフットサポートの上に乗らないでください。
車体横から乗車するようにしてください。

・ 椅子部電動格納機能、および縦置きの仕方

二つのスイッチ操作により、分解や組み立てすることなく電動での格納や展開ができます。車のトランクなど省スペースへの収納、積載が可能です。また格納後はフットサポート部の取手を持ち上げて縦置きすることもできます。（第6図）



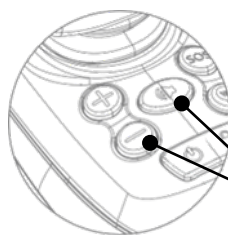
第6図

① 椅子部電動格納と展開（第7図）

ブザースイッチと速度ダウンスイッチ⊖を同時に長押しすると椅子部が電動で格納します。

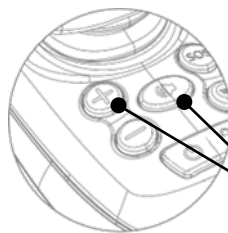
ブザースイッチと速度アップスイッチ⊕を同時に長押しすると椅子部が電動で展開します。

■ 電動格納



「ブザー」と「速度ダウン」を同時に3秒以上長押しします。

■ 電動展開

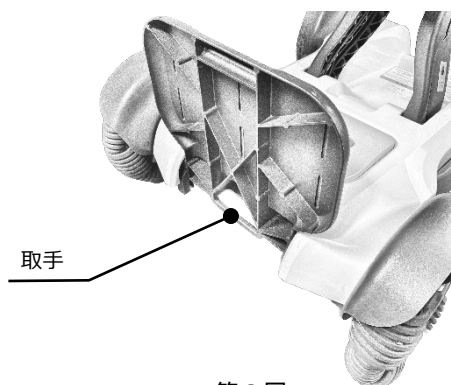


「ブザー」と「速度アップ」を同時に3秒以上長押しします。

第7図

② 椅子部の縦置き

椅子部格納後、電源スイッチを「切」にします。
フットサポートを折りたたむと下側に取手（第8図）があり、持ち上げて縦置きすることができます。
また、取手を持ちながら転倒防止装置（車輪）を転がすことで運搬することもできます。



第8図

運転及び操作の仕方

⚠ 注意

乗車中に椅子の格納操作はおこなわないでください。手や足を挟み込み、けがをするおそれや電動車椅子が破損するおそれがあります。
万が一、操作してしまった場合は、操作レバーを倒し停止させてください。

⚠ 警告

事故防止のため、周囲に人がいないことを確認してから展開、格納操作をおこなうようにしてください。

※電動車椅子は道路交通法上（第2条－3項－1号）歩行者として扱われます。歩行者としての交通ルールを守って安全運転を心掛けてください。

※歩道を走行し横断歩道を渡ってください。歩道のないところは右側通行してください。

※斜め横断はしないでください。

※踏切や横断歩道では一旦停止して安全を確認してください。

※電動車椅子に乗り降りする場合は、左右のクラッチレバーが「電動」の位置になっていることを確認して電源スイッチを必ず「切」にしてください。クラッチレバーが「手動」の位置ではブレーキは効きません。

※電動車椅子に乗り降りする際は必ず電源を切るようにしてください。また、操作ボックスには体をあずけるなど大きな荷重を加えたり強い衝撃を与えたりしないようにしてください。

※スイッチ・操作レバーの操作は丁寧におこなってください。また、衣服を引っ掛けたり、強い衝撃を与えたりしないようにしてください。

※走行中は子どもやペットが電動カートに近づけかないように注意してください。

※制動距離は条件によって変わります。停止操作は余裕をもっておこなってください。

※屋内では他の人に迷惑を掛けないよう必ず低速で走行してください。また、人通りの多い歩道も必ず低速で走行してください。

※後進時は、後方の人や障害物を充分確認し走行してください。

※電動車椅子が何かにぶつかったまま操作レバーを倒し続けるのは故障の原因になりますのでやめてください。

※車体から身体の一部をはみ出さないよう注意してください。

※駐停車は坂道を避け必ず平地でおこなってください。

※保管や駐車するときは、クラッチレバーを「電動」の位置にして電源スイッチを必ず「切」にして他人や子ども等が触れないように注意してください。

※二人乗りや牽引はしないでください。

※使用者最大体重（積載物含む）が100kgを超える場合は走行をしないでください。

※スイッチ操作をするときは、必ず停止しておこなってください。

2. バッテリー残量ランプの表示について

- バッテリーから取り出せる電気量には限度があります。バッテリーの残量ランプで電気の残量を確認しながら走行してください。
- バッテリーが十分に充電されていると残量ランプが全て点灯しています。走行しているうちにバッテリーの消費量によって残量ランプが右側より徐々に消えていきます。
 - 残量ランプが3個点灯になったときは充電が必要です。

容量 (%)	バッテリー残量ランプ ○点灯 ●消灯	走行状態	表示器	表示例
80～100		標準速度	設定速度を表示	
60～80				
40～60				
20～40				
0～20				
0				

3. 電源スイッチ切り忘れ防止機能について

電源を入れて操作レバーを倒さない状態が続くと自動的に電源が切れるオートパワーオフの機能が搭載されております。

4. 走行距離について

- ※走行距離は、25km程度ですが走行状況によって変わります。
 夏場、冬場など寒暖差の激しい時期、坂道や悪路等の電気を多く消費する場所を走行しますと短くなります。
- ※バッテリーは消耗品です。使用しているうちに働きは徐々に低下し走行距離も短くなります。
- ※同じような使い方をしていてもバッテリー残量計の減り具合が早くなってきたり、走行できる距離が次第に短くなってきたりするときはバッテリー交換の時期と思われます。早めに専用バッテリーに交換してください。尚、そのまま使用されますと急激に走行距離が短くなる場合があります。

運転及び操作の仕方

5. 緊急時の対処の方法について

何らかの原因で電動車椅子が走行できなくなった場合は、以下のような対処をおこなってください。

●介助者が同行している場合

介助者の方は以下の作業をおこなってください。

- ・操作ボックスの電源スイッチを「切」にしてください。
- ・クラッチレバーを左右「手動」にしてください。
※傾斜面等でやむを得ずクラッチレバーを「手動」にする場合は、電動車椅子が思わぬ方向に動きますのでバックサポート部を持ちながらクラッチ操作をおこなってください。
- ・バックサポート部を押し電動カートを安全な場所に移動させてクラッチレバーを左右「電動」にして停止してください。

●介助者が同行していない場合

- ・操作ボックスの電源を「切」にしてください。
- ・近くにいる人に声をかけて以下の操作をおこなってもらってください。
- ・クラッチレバーを左右「手動」にしてください。
※傾斜面等でやむを得ずクラッチレバーを「手動」にする場合は、電動車椅子が思わぬ方向に動きますのでバックサポート部を持ちながらクラッチ操作をおこなってください。
- ・バックサポート部に手を掛け安全な場所に移動させてクラッチレバーを左右「電動」にして停止してください。

※電動車椅子の故障の場合は直ちにお買い上げの販売店で修理・点検を受けてください。

7 充電の仕方

充電は以下の要領でおこなってください。

- ①操作ボックスの電源スイッチを「切」にしてください。
- ②充電器の電源コードのプラグを家庭用100Vコンセントに差し込んでください。（第9図）

※充電用電源プラグの取扱いについては、プラグの根本付近以外はつままないでください。コードや蛇腹部分を引っ張りますと破損や断線をするため、取扱いには充分お気を付けください。

※感電の恐れがありますので、濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。

- ③充電器の充電プラグを電動カートの充電口に差し込んでください。（第10図）

◇充電中の表示（第11図）

充電状態	電源ランプ	充電ランプ
充電中	赤色	赤色
満充電	赤色	緑色

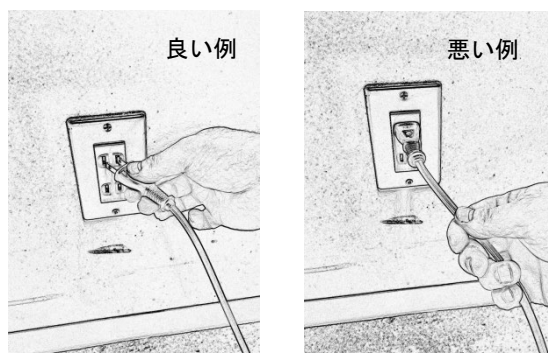
※充電方法は、以下の2通りがあります。

- 本体にそのまま充電する場合
操作ボックスの裏面にある充電口に差し込みます。
（第12図）
- バッテリーボックスを外して使用する場合
バッテリーボックスの裏面にある充電口に差し込みます。
（第13図）

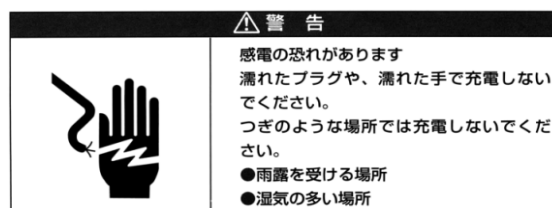
- ④満充電になりましたら充電プラグ、および電源プラグを抜いてください。

※プラグは充電プラグ、電源プラグの順に抜くようお願いします。

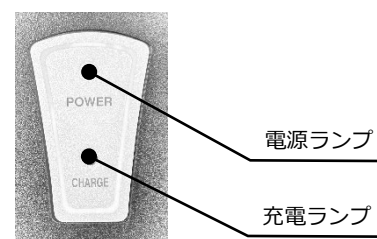
- ⑤充電の途中でプラグを抜く動作を繰り返しますと、バッテリーの性能劣化が早くなりバッテリー寿命が通常より短くなります。必ず満充電までおこなっていただくことをお勧めします。



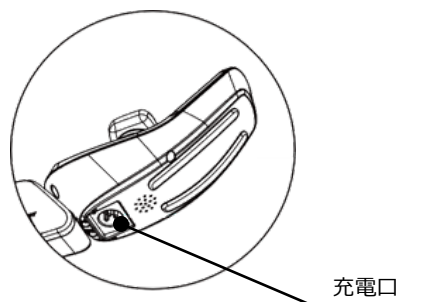
第9図



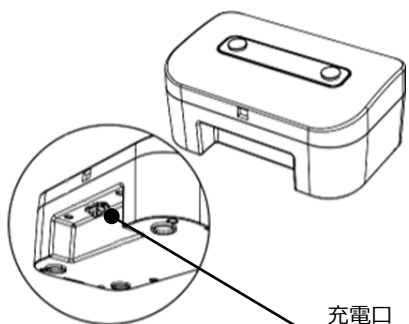
第10図



第11図



第12図



第13図

充電の仕方

注 意

充電中は、充電器が発熱するため充電器の上に物を置かないでください。また車体カバー等を掛けたまま充電しないでください。

注 意

発電機やインバーターからの充電はおこなわないでください。

ご 留 意

充電器の分解や改造は故障の原因になりますのでやめてください。

※購入後はじめてご使用になる場合は必ず充電してください。

※必ず専用の充電器とバッテリーをご使用ください。

※充電するときは必ず電動車椅子電源スイッチを「切」にしてください。

尚、電動カートの電源スイッチを「入」にしても充電中は走行しません。

※雷時は直ちに充電を中止し充電用電源プラグを家庭用100Vコンセントから抜いてください。

※夏場、冬場など寒暖差が激しい季節では充電が不足気味になり走行距離も短くなりますので気を付けてください。

※各力所のコネクタが正しく差し込まれていないと充電できません。

※充電時間はバッテリーの充電状態にもよりますが、最大7時間です。

※国外でご使用になる場合は電源プラグを各国のコンセント形状に対応した変換プラグを利用して充電してください。入力電圧は充電器240Vまで対応しております。

8 バッテリーの取り扱い

1. バッテリーについて

バッテリーに直接触れる作業をおこなう場合はバッテリーに表示されているコーションラベルをよくお読みになってその指示に従ってください。バッテリーのラベルの内容は以下の通りです。

危険

- ・バッテリーの端子間をショートさせないでください。
やけど・発煙・発火の原因になります。
- ・バッテリーを火の中に入れないでください。
引火爆発事故の原因となります。
- ・バッテリーに強い衝撃を与えたり、突起物を打ち込んだりしないでください。
引火爆発事故の原因となります。

警告

分解、改造しないでください。
爆発や火災の原因となります。

注意

電動車椅子のバッテリーを人工呼吸装置等の生命維持装置の電源等には使用しないでください。

2. バッテリーの交換について

バッテリー交換は、P. 12の「2. バッテリーの取り外し方」を参照してください。

注意

バッテリーを取り外すときはバッテリー上面にあります取手を持っておこなってください。
必ず専用バッテリーをご使用ください。

注意

異常な発熱や変形があった場合は、すぐに使用を中止し販売店へ連絡してください。
バッテリーの劣化、故障が考えられます。

※バッテリーの寿命は、使用場所・使用時間によって大幅に異なります。
※使用済みのバッテリーは、そのまま廃棄せず販売店に相談してください。

バッテリーの取り扱い

3. バッテリーを長持ちさせる上手な使い方

バッテリーは日常の保守管理によって寿命は大きく変わります。以下の点に留意してバッテリーを長持ちさせてください。

- バッテリーはリチウムイオン電池 20Ah（メンテナンスフリーで長寿命）を使用しております。
充電は必ず専用充電器をご使用ください。
 - 充電するときは、必ず充電完了（充電表示ランプ：緑色）になるまで充電してください。また、充電が完了しましたらそのまま放置せず早めに充電プラグを抜いてください。接続した状態にしておきますと寿命が極端に短くなるおそれがあります。
 - 電動車椅子を長期間使用しない場合はバッテリーを70%程度充電してからバッテリーを本体から取り外し、直射日光を避けた涼しい場所で保管をお願いします。
バッテリーは使用していないときでも残量が減っていきます（自然放電）。
 - 冬場など0℃以下の低温環境で充電をしますと保護回路が作動して充電を停止することがありますので、15～25℃の屋内での充電をお勧めします。
 - 夏場など40℃を超える環境で充電をしますと保護回路が作動して充電が停止しますので、15～25℃の屋内での充電をお願いします。尚、夏場など暑い環境で電動カートを使用した直後は、バッテリーが発熱して充電を受け付けられない場合がありますので、15℃～25℃の屋内で1時間程度休ませてから充電をおこなってください。
- ※屋内で充電される場合は火気のない場所で充電してください。

9 手入れの仕方

電動車椅子を安心してご使用していただくために、以下の保守をしてください。

1. タイヤの溝について

ご 留 意

電動車椅子のタイヤはパンクレタイヤを採用しておりますが、タイヤの溝が少なくなることによって以下のようなことが起きるおそれがあります。

- 制動距離が長くなります。
- 操作性が悪くなります。

※タイヤの溝深さが前輪約0.5mm、後輪約0.5mmになりましたら交換してください。

※タイヤを交換する場合は当社純正のタイヤをご使用ください。

2. 保管上の注意

電動車椅子は以下のような場所に保管しますと故障の原因となります。

このような場所は避けて保管してください。

- 水等の掛かる場所
- 湿気の多い場所
- 火気の近く等高温になる場所
- 直射日光のあたる場所
- 砂・ほこりの多い場所

※必ずクラッチレバーは「電動」の位置で保管してください。

3. その他の手入れ

ご 留 意

電動車椅子は電気部品をたくさん使用していますので水洗いは絶対にやめてください。

※水等に濡らすと錆や故障の原因となります。

濡れた場合は乾いた柔らかい布等でふいてください。

※ガソリン・シンナー・ワックス等の薬品でふかないでください。車体の変色等、表面を傷めるおそれがあります。

- 柔らかい布等で汚れを落としてください。
- 汚れのひどい所は中性洗剤を柔らかい布等にしみ込ませてふき取ってください。

※部品を交換するときは必ず純正部品を使用してください。

ご 留 意

前輪（オムニホイール）の溝に小石等が挟まった状態で走行すると、異音や故障の原因になります。また、床を傷付けるおそれがありますので、気を付けて取り除くようにしてください。

10 故障時チェックリスト

故障であると思われる症状と操作ボックスの表示器によって以下の確認をおこない、保証書の車体番号と合わせて販売店にご連絡ください。

症 状	確認事項	
電源が入らない	バッテリーが正しくセットされているかお確かめください。	
	バッテリー容量（電圧低下）が考えられます。充電をこころみてください。	
電動車椅子が動かない	操作ボックスの電源スイッチがロック「緑ランプ点灯」になっていないかお確かめください。	
	バッテリー放電（電圧低下）が考えられます。充電をこころみてください。	
	クラッチレバーが「電動」に位置になっているかお確かめください。手動の位置になっていることを音声にてお知らせします。	
	操作ボックスの表示部にバッテリー、および速度表示が出ていませんか？もしくは、充電器が接続されていませんか？ 以下表示の場合は販売店にご連絡ください。 <表示と点検>	
	表示	点検
	E 1	操作ボックス部のスイッチの故障が考えられます。 常時表示される場合は操作ボックス交換が必要です。
	E 2	操作ボックス部のレバー異常が考えられます。 操作ボックス部交換が必要です。
	E 3	G P R S 異常
	E 5	リレー異常が考えられます。 操作ボックス交換が必要です。
	E 6	機器の損失 操作ボックス、またはモータ交換が必要です。
	E 8	モータ故障が考えられます。 発熱の可能性があるため使用を中止しモータを冷ましてください。改善されない場合、モータ交換が必要です。
	E 9	ドライバ故障が考えられます。
	E A	フラッシュメモリ故障が考えられます。
走る力が弱い	温度上昇保護機能が働いている可能性があります。上り坂など高負荷での使用は避けてしばらく走行しないでください。	
バッテリーメータが下がりがやすくなった	夏場の気温が高いとき、または冬場など気温が低いときに走行しますとバッテリー残量ランプが下がりがやすくなります。（走行距離が短くなります。） バッテリーには寿命がございます。充電回数約 1 0 0 0 回、又は製造月から約 3 年での交換をお勧めします。	
タイヤがすべりやすくなった	タイヤの溝が少なくなっていると思われます。タイヤ交換が必要です。	
充電しない	電源プラグ、または充電プラグが確実にコンセントに差し込まれているかお確かめください。	
	コードに損傷があり断線していませんか？ 以下表示の場合、販売店にご連絡ください。 <表示と点検>	
	E 4	充電器の故障が考えられます。 充電器過熱のため、時間おき冷ましてから充電をしてください。改善されない場合、充電器の故障が考えられますので交換をお願いします。 バッテリーの故障が考えられます。 バッテリー過熱のため、時間をおき冷ましてから充電をしてください。改善されない場合、バッテリーの劣化が考えられますので交換をお願いします。
その他	不明な点がございましたら販売店までご連絡ください。	

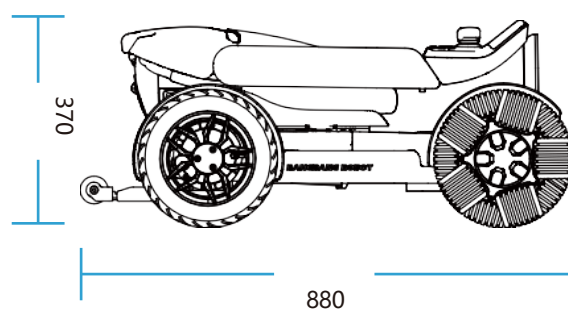
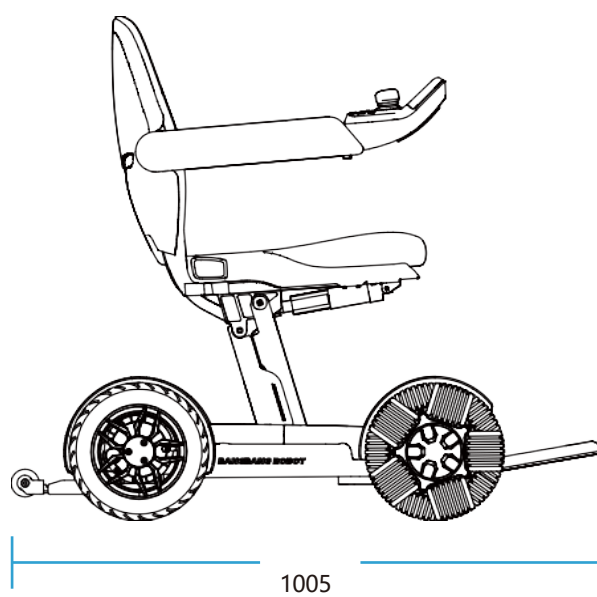
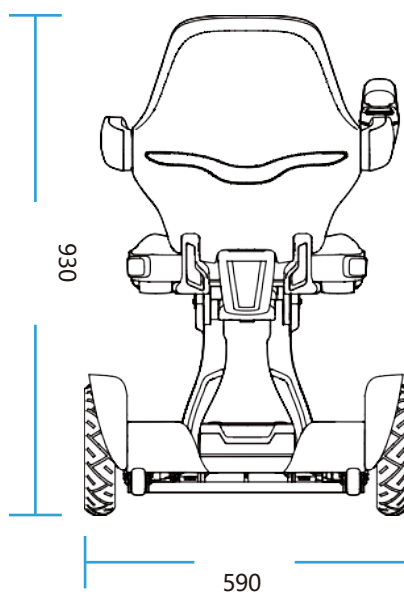
11 諸元・性能表

仕様		機種	
		E M C－MR 1	
寸法 (mm)	全長×全幅×全高	長1,005×幅590×高930 ※椅子、およびフットサポート格納時、長880×幅590×高380	
	アームサポート高さ	シート上面より220	
重量 (kg)	本 体	38	
	バッテリー含む	42	
車 輪 径 (mm) (前後輪空気入りタイヤkpa)		前輪：径253mm 後輪：径244mm	
フレーム構造及び寸法 (mm)		椅子電動格納式、フットサポート手動格納式 シート幅 420 シート奥行 430 バックレスト高さ 460	
駆動方式		前輪オムニホイール後輪直接駆動方式	
制動方式		モータ発電及び電磁ブレーキによる制動方式	
制御方式		ジョイスティックコントローラによる全方向電子制御方式	
駆動モータ		D C 24 V 定格出力200W×2	
バッテリー		リチウムイオン電池 D C 2 4 V 2 0 A h	
充電器 (充電時間)		電子タイマー付き自動充電方式 (0～7時間)	
速度 (km/h)	5	前進時	後進時
	4	5.4	1.7
	3	4.0	1.4
	2	3.0	1.1
	1	1.7	0.8
	1	0.5	0.5
連続走行距離 (km)		算出条件：常温で乗車重量100kg、最高速度の平坦路直進時、 バッテリー新品満充電から100%放電まで	
		25	
実用登坂角度(度)		10	
段差乗越高さ：前進時(mm)		50	
溝乗越幅(mm)		100	
最小回転半径(mm)		測定条件：フットサポートの最も外側の軌跡 760	
使用者最大体重(kg) ※積載物含む		100以下	

※改良のため予告なく諸元・性能を変更することがあります。

12 外觀圖

□ EMC-MR1 型



お問い合わせは



株式会社 **今仙技術研究所**

岐阜県各務原市テクノプラザ3丁目1番8号

〒509-0109

電話 (058) 379-2756

FAX (058) 379-2754